

## ISO14001 内部環境監査を実施しました

9月4日（月）～6日（水）に ISO14001 内部環境監査を実施しました。

内部環境監査は、年に一度 ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（EMS）が正しく運用されているかという視点に加え、有効に機能しているかを確認するために行います。

監査は部局の環境推進リーダーが中心となって行いますが、今年度新規開講した環境講義「マネージメント論」を履修の学生、有志の学生も参加しています。学生監査員は事前に外部講師及び本学の教員より研修を受け、ISO14001 の規格及び監査における着眼点や不適合事項の特定など監査の手法について学び、監査チームごとにチェックリストを作成して監査に臨みます。

今年度は 23 名の学生が職員とともに監査に参加しました。学生からは「昨年度内部監査で指摘された事項に関して適切に改善されている」「災害時のために、大規模災害対策マニュアル等を学生に伝える工夫をしてほしい」「環境目標、目標のための実施事項を定めており、法律のチェックも行われている」など良いところを含め例年より多くの意見が寄せられました。全体として不適合事項はありませんでしたが、改善の機会となる意見が 12 件あったため、対応していきます。

監査に参加した学生からは「大学が環境についてさまざまな取組を行っていることを知り、自分自身も環境への意識を高めることができた」「ISO14001 について理解を深められて勉強になった」などの感想が寄せられました。

### 【研修の様子】



### 【内部環境監査の様子】

